

仙台の中学生が函館港の歴史などを学びました ～函館・北斗総合学習（宮城教育大学附属中学校）への協力～

★港湾業務艇で港の利用状況を見学



★「函館港のおはなし」を学習

函館開発建設部では、函館港の歴史や役割などを理解していただく一助となるよう、「宮城教育大学附属中学校」が行う「函館・北斗総合学習」への協力の一環として、同校の2年生の生徒3名を受け入れました。

宮城教育大学附属中学校が行う「函館・北斗総合学習」は、函館市と北斗市を中心に、その周辺地域の人々の生活文化・自然・産業・歴史などについて、生徒たち自らが設定した課題に基づき、実際に見学・体験することを通して追求するとともに、現地の人々との触れ合いを通して自分の将来の生き方に対する意欲を持たせ、職業観や人生観を深める学習です。

当部では、平成16年度から管内の中学生を主な対象として、人と接することにより望ましい勤労観や職業観を育む「職場体験学習」に協力しています。

★北ふ頭整備について学習



★摩周丸付近でヒトデを発見！



★函館漁港について学習

★日時 平成29年5月17日（水）10：00～15：00

★場所 函館開発建設部函館港湾事務所及び
函館・北斗市内の各施設